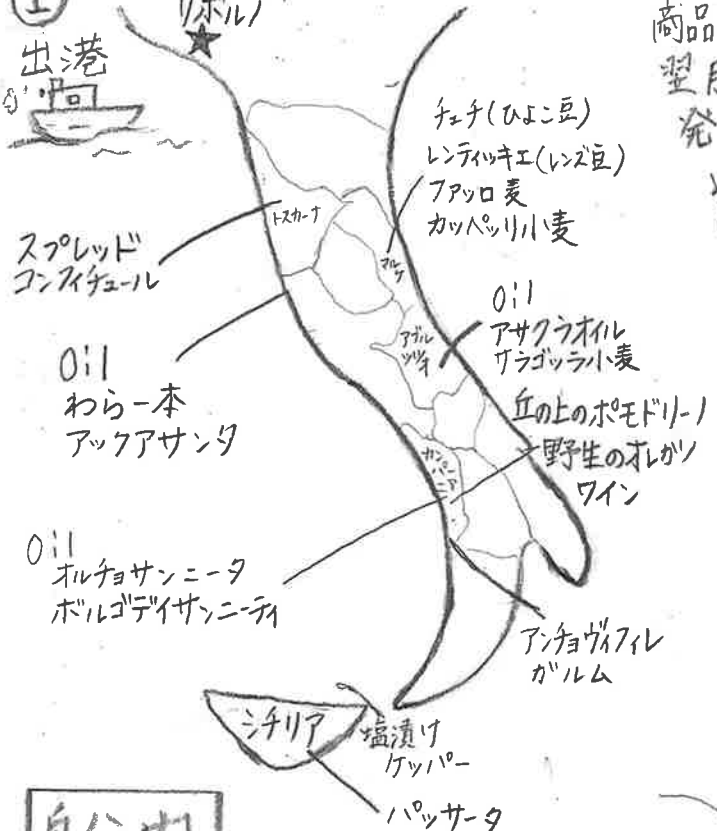


# アサクラアイテムが届くまで

1917から日本



商品部(輸入担当)の佐藤三恵です。私は2017年8月に入社し、翌月には大阪委託倉庫から会津に全面的に戻し、その流れで発送・在庫管理を担当していました。

それから1年後、朝倉が多忙になりつつあり、「佐藤さんなら出来る！」の一言で輸入貿易兼商品部を任命されました。

伊リアのやり取りを一手に私がすることになってしまいました。書類も何も私に丸投げ。そしてそれから5年の月日が流れ現在に至ります。お陰様で何とか任務を遂行して輸出入や在庫管理もだんだん理解できるようになりました。今回はアイテムがどのような流れで皆様のお手元へ届くかをご紹介します。

## 船内

輸出品は鉄材の細長い箱状のコンテナに入られる。  
(コンテナサイズは20又は40フィート高さ2m程)  
**輸送中のコンテナの秘密!**  
船内は太陽の照り返して意外なほど温度変化が!!  
夏の暑い時期に車内にオリブオイルをそのまま放置したとしましょう。日中はサウナのやうに暑くなり、陽が沈むと車内の温度が降下。このように温度上昇降下が3週間も続いたら、入れっぱなしのオイルはどうなるでしょう? 結果は火を見るよりも明らか。船内も同じです。  
※高温と温度変化の繰り返しがオイルの劣化を促す。

弊社は 14°Cをキープした定温コンテナに入れ運びます

## スエズ運河

全長 193.3 Km  
幅 205 m  
深さ 24 m  
(スエズ運河橋 高さ70m)

思いのほか狭い!



## 東京港到着

- <通関>
- 内容物の照合
  - インボイスの照合
  - 税率の計算 etc...

## 会津倉庫到着

## 2大車輸入ラベル

衝撃度 1位 / 2016年根性オリブ事件  
「伊リア出港後船会社倒産のニュースが!まさかその船会社の船にオリブが載っていると夢にも思わず」(※船会社はその都度変わる)  
朝倉はこの時初めて積み荷を見に品川の港に。オリブを現場で開封味見し「大丈夫!」と判断。2ヶ月以上、海の上をさまよったオリブを根性オリブとして販売(笑)

衝撃度 2位 / 2021年スエズ運河座礁事件  
スエズ運河で1隻の日本船が座礁。横転。水路がふさがり、通過できない船が400隻以上連なる。この中にオリブの船もあることを知りショック。TVニュースで横転の凄さと「こんなにも狭く浅いところを通過するのか」と初めてスエズ運河について理解。意外にも早く復旧しわりかた遅れて到着し車なきを得た。

このようにして、伊リアのクオリティをなるべく維持した状態で皆様にお届けしています。今後ともよろしくお願ひします。